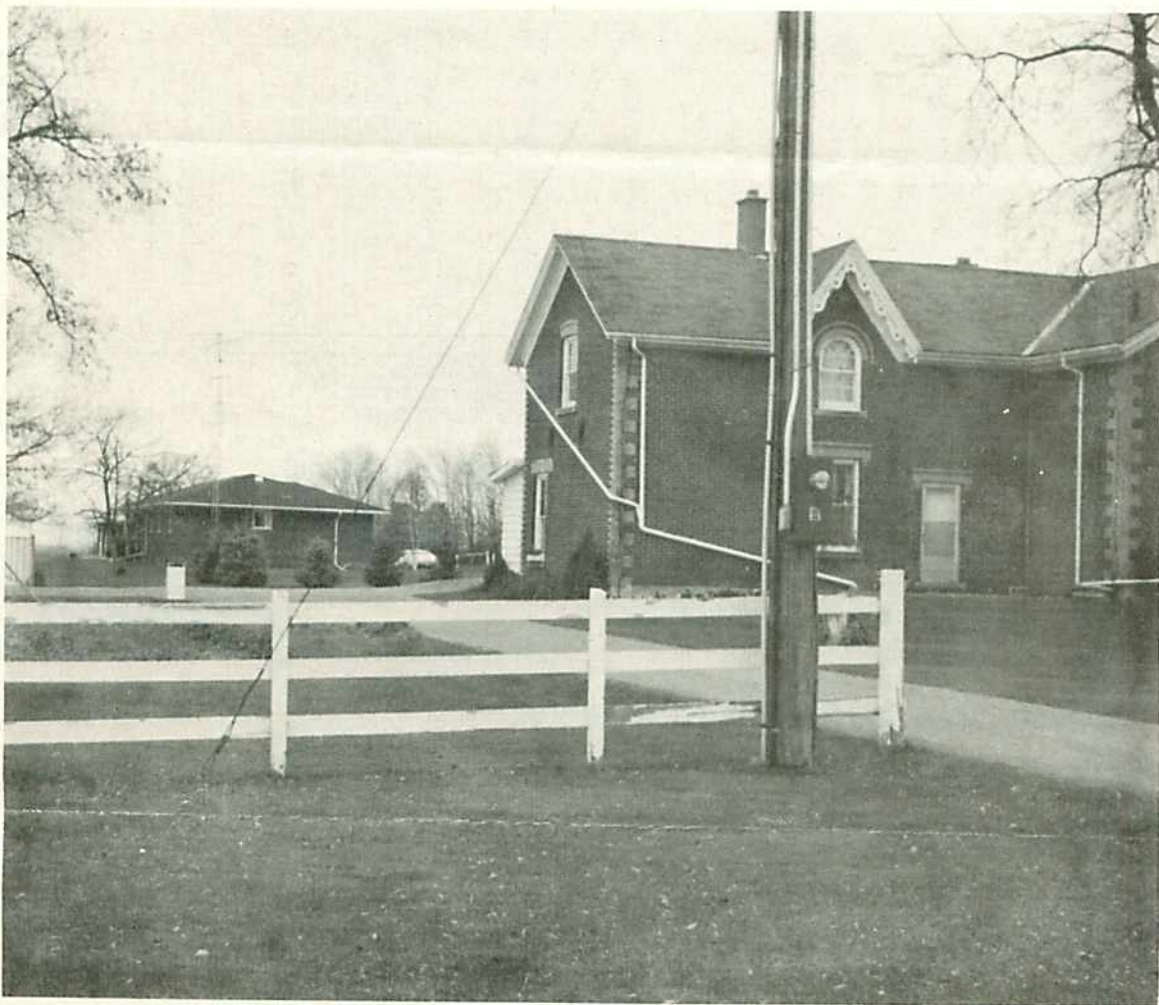


(1) 組合だより

組合だより

発行所 中標津農業協同組合・中標津町農業共済組合
発行 昭和53年12月 第54号 印刷・アート印刷株式会社



早いもので今年もあとわずかを残すのみとなりましたが、お蔭様で農協三十周年式典も無事終了させて頂きました。過ぎ去った苦勞をしのび乍ら思い出深いものもあったのでないでしょうか。只途中で帰る方も多く予定より早めに散会の状態にならざるを得ませんでした。

又料理などを始め何かと不手ぎわもありご不満もあったと思えます。ご寛容下さい。さて私共は之から何を考えそして実践することが大切な時期です。言うことはたやすいがさて実行となるとなかなか面倒、而し一つ一つでもみんなを取り組むようにしたいものです。又後継者の人達に農協をどの程度理解して貰っているでしょうか。今後このような式典が行われるのはおそらく五十年目でしょう。

若い人達にも未来づくりをお願いしたい。

又新しい年を迎えます。

みなさん元気で心にも張りのある年でありますように。

参事 成田 武

理事会の経過

第八回 理事会

十月二十四日開催

議 案

一、仮決算に伴う、五十三年度損益中間統制計画について。

原案どおり決定。

二、五十三年度団体営草地開発整備事業の一部変更について。

原案どおり決定。

三、五十三年度中標津地区農業用水施設事業に伴う、公庫資金の借入について。

原案どおり決定。

四、バルククーラー更新のための新規取得について。

原案どおり決定。

五、昭和五十三年度産澱粉の生産物金融資要領について。

原案どおり決定。

六、外部出資の増口について。

原案どおり決定。

協 議 事 項

一、農協創立三十周年記念式典の準備計画について。

二、人工授精業務の共済特別委員会協議経過、並びに調査状況と今後の進め方について。

報 告 事 項

一、澱粉工場原料集荷状況について。

二、石油価格の値下げについて。

三、乳牛改良同志会、青年部による海外研修について。

四、貯金、共済の海外研修について。

五、澱粉廃液撒布等の視察状況について。

六、農協財務、事業の状況について。

七、自治監査の実施について。

八、農協広報無線の放送準備と開始について。

九、一日貯金の結果について。

十、協同活動実践計画について。

十一、組合員戸別訪問について。

53 年 度

初代本登録 体格審査終了する

畜 産 課

昭和五十三年度初代本登録体格審査は十一月一日、二日の二日間根室生産連、渡辺審査員により実施されました。多忙な時期にもかかわらず、受験者各位の御協力により無事終了しました。次回の審査実施予定は五十四年三月の予定です。

53 年度 初代本登録体格審査得点表

得 点	76.0	76.5	77.0	77.5	78.0	78.5	79.0	79.5	80.0	80.5	81.0	計
頭 数	3	7	16	13	24	8	14	0	9	1	1	96

氏 名	名 号	生 年 月 日	得 点
高 平 幸 夫	マツヒメ クリスタン	49・8・24	80.5
秋 山 政 雄	1 シラギク	42・4・9	80.0
阿 部 稔	ヘンドリカ ソブリン	45・3・2	80.0
新 井 範 美	3 オームスピービューテイ	47・5・26	80.0
〃	3 オームスピークレセント	48・10・7	80.0
青 木 喜 三	レイブン ホワイトイーグル	49・3・3	80.0
長 正 路 清	エーエル エルム オクソニアン	49・4・4	80.0
大 野 富 夫	プライド セレクト	51・4・5	80.0
安 田 稔	オークリッチス ミドリ	49・7・11	80.0
〃	バインデール テルスターズ	48・6・28	81.0
桜 井 誠 造	ブラック イーグル	50・7・10	80.0

■ 獣医師から一言 ■

腰ぬけなんてこわくない

雪印中標津工場 芳野 誠

牛の頭数が増えてくると、それにつれて病気もいろんなものが出てきます。乳牛が病気になることが直接経営にひびいてしまいますから大変です。特に分娩前後の病気は大きな痛手になってしまいます。この時期にはいろいろな病気がもちろんありますが、なかでも「腰ぬけ」は大変です。一昨年ごろから「腰ぬけ」が随分と多くなってきました。しかもなかなか治りにくいものが多いので私達も憂うつになってしまいます。

◎ 多くなった腰抜け

この頃どうして「腰ぬけ」が多くなってしまったのでしょうか。表を見てみると、起立不能だけでなく骨折、脱臼とか蹄病が異常に多くなっているのがわかります。これらは骨に関係した病気で、骨などはカルシウム、リンから作られています。この成分が不足したり、あるいはバランスがくずれてしまったりして骨や蹄が弱くなってしまうようです。原

因はエサによるものなのですが、エサ(牧草)の状態が悪いのです。即ち、牧草中にカルシウム、リンが少ないのです。このことはもちろん牧草が生育する土壌の影響と言うことになります。ですから土が牛の健康を左右すると言うことになります。

◎ 腰ぬけの原因は土

それでは本当に土壌に問題があるのでしょうか。検査により中標津の土壌の実に73%以上がPH4.45の酸性土壌です。石灰分は理想としては200mg以上含まれていなければなりません。炭酸カルシウムの石灰分を含んでいた土は検査したものの0.5%しかありませんでした。殆んどが半分の100mg以下しか含んでいないのです。

近頃、土についての関心も強まり草地更新もどんどん行われるようになって、とても結構なことです。私達の土壌は摩周系火山灰だと言うことを頭に入れて土づくりにとりくんでいかなければなりません。

せん摩周系火山灰は厄介な土なわけですが、リン酸吸収が非常に高いです。土自体が水溶性リン酸と固くむすびついてしまい土が吸収し、リンを作物が余り吸収することができないのです。

ですからリンが不足することが多いわけです。飼料にリンが不足すると病気につながることになるのです。たとえば骨の病気、消化器障害、繁殖障害などが起ってしまうのです。卵巣萎縮とか、卵胞の発達が悪くて発情の弱いものが多い発情する家ではリン欠土壌のことが多いものです。土と発情が密接に関係するわけですからふしぎな感じがします。

◎ 考えよう施肥量

根室地域の牧草に対する施肥基準をきちつと守ってとりくんでいきたいものです。基準は表の通りですが、今三二二運動が行われています。炭カルについては三年毎に60kg、ヨーリンは三年毎に60kg撤布する様計画して欲しいものです。

表3は中標津の土改材の施用量ですが、ヨーリン、炭カルについて熱心に考えていることがよくわかります。

こうした地道な努力が、牛の健康に大きな影響を与えていくものです。きっと病気も少なくなつて

いくことでしよう。「腰ぬけ」の原因はいろいろなものがあります。産前産後の起立不能症の原因もいろいろ考えられよくわからないものもあります。カルシウム、リンの不足やこれらとカリとのバランスによるものも多いようです。つまり土が原因での起立不能症が多いということになります。来月は、産前産後の起立不能症、乳熱などについて解れてみたいと思っています。

病気の発生率

単位 % (中標津共済組合)

	43年	45年	49年	51年
産後起立不能	0.60	2.74	2.27	1.41
蹄病	2.15	2.27	6.65	5.98
骨折	0.02	0.08	0.12	0.20
脱臼	0.02	0.27	0.40	1.16
腰痠	0.03	0.07	0.36	0.81

全病牛に占める割合です

土地材施用の動向

(中標津農協)

年	ようりん	タンカル	苦土カル	重焼カル
50	4,555袋	57,800	250	30
51	11,862	53,000	35,531	3,293
前年比	260.4%		152.6	

牧草への施肥基準

単位kg/10a(根釧)

		N	P ₂ O ₅	K ₂ O
造成時	新墾	4	25	5
	更新	4	20	8
2年目以降	採草地	8	8	18
	放牧地	8	8	12

第1回 アメリカ・カナダ酪農視察

研修旅行を終えて

私達が自立的に積み立てを用い、事務局を農協に置き、この計画の一年目が去る十一月五日に中標津農協前を出発し、十一月二十二日夕方着という、延々十七日間に渡る日程でありました。その内容は、アメリカで一つの人工授精所二つの農場、カナダでは、十三の農場とウインターフエアを視察研修し、第五十回という記念すべきローカルショーを二日間に渡り、ホルスタインの部を中心に見学し、最後は、ローカル、カナデアン、ホルスタイン、セールで、私達一行も数名最後まで興味深く見ておりましたが、数頭以外は、能力的に差がないのじゃないか、という感じを持ってきました。が体型的には、日本より数段層の厚さを見てきました。

アメリカ視察では、たとえば、ブレミア、タレントと言えば、クレセント、ビュートイ牧場とすぐ名称がでてまいります。このオーナー室には、日本発刊のデイリーマン・ホルスタインマガジン等々世界各国の雑誌が所狭しと並んでおり、日本でけい養されている二頭についても再考しようでは、という程の牛群であり、メンバーの話しもこの辺で落ち着きそうな具合でありました。又、偶然にも、この農場で実際に、人工授精師が

人工している場面に遭遇し、その方式は、日本と変らないはずですが、マッサージに始まりマッサージに終るといった感を強く持ちました。これこそ真の人工授精師の姿ではないかと見聞した次第です。又、オーナーが授精師を我々のところに呼んでもらえませんでしたので、いろいろ質問した結果一日に三十五頭以上授精し、その行動範囲たるや二百マイル、三百kmにも達するとの事であった。次にカナダに入った訳ですが、具体的に受精卵移植により分娩した牛の多かったことに驚きました。日本で考えるとまだまだ試験段階であり、失敗した結果、牧場が破産したという現地のカナダ・ホルスタイン・フリージアン協会の複数の方々のお話もありましたが、多くの農場で異常にも思える程のドライ牛があり、この牛が受精卵移植の為であり、なおかつ、若牛(十八ヶ月令)にも同様の移植をしているのを間の当りに見てまいりました。本当に驚く程の雌雄を分婉させ、その産後を拝見しましたが、それはそれは、大変な時代の到来を感じ、この牛群が世界に分散していくのはもう時間の問題であろう。とに角、失敗を恐れずに、お金の力によって分婉させていると言った方が正解で

しょう。(このお金の一翼をになつてるのが日本でしょうか?) 施設等については、牧場開設新しいところは別として、トップに載せる事は対尻式より対頭式が多かった事であり、次に古い施設に増築に増築を重ね今日に致つてること、右で築いた牛舎も有り、増築部分は、丸太が大部分ではありましたが、最近の根鎖的牛舎もありました。その古い牛舎内部は、石灰を何十年もぬつて居る結果でしよう、一cm位の層になつており、清潔さ、もしくは、食品を生産しているという意識が高いのでしよう。二階の乾草庫、濃厚飼料等の貯蔵所のみにはみられなかつたくももの菓。私達が四百万細菌数規制は、彼らにしてみれば、非常に不思議なるお話でしよう。日本からウインタールに向けての日本人の多い事。そしてフェアのホルスタインの部が始まると会場いたるところ、集団をなしているのが日本人でありました。と言いますのは、どこの国から来訪しても外人でしかない訳ですから、目立つ訳ですが、イギリスよりの来訪者にアグロ牧場で遭遇し、私達のメンバーの一人が、事業団刊行のサイアーブックを寄贈した事もあります。又、通じない英語を駆使してしゃべるメンバー。やっぱり通じないので、最後はホテルのマッチを見せてOK。笑い話ですが現実の話の十七日間ではありましたが、皆元氣なる姿で、農協前に立った時には多くの方々于心配している中を、何もありませんでした。元氣に帰って来ましたが、とり澄まして居る方など色々ではありましたが、最後はやはり、日本はいいな、中標津は我が永久の宿泊地ということになりました。多くのエピソードもありますが、それは各地域の話題にし、この旅行の内容等については、次回より掲載される予定になっていますので御楽しみに。

研修

第一回アメリカ・カナダ酪農視察
団長 杉本国視



記録写真



種別	組合員名	上旬	中旬	下旬	種別	組合員名	上旬	中旬	下旬	種別	組合員名	上旬	中旬	下旬	
バ	三宅忠義	0	0	0	バ	真部 愈	1	0	2	バ	谷村茂夫	1	1	0	
バ	門馬四郎	1	0	1	バ	渡辺利秋	1	0	0	バ	武田三郎	0	0	0	
バ	中塚文夫	1	1	0	バ	田代良司	1	1	1	バ	藤井弘美	0	0	0	
バ	石原竜雄	1	1	1	バ	相沢武雄	0	1	2	バ	北村一仁	1	0	0	
バ	西井武	1	0	0	バ	太田俊昌	0	0	0	バ	杉本匡視	0	0	1	
バ	土井上信一	1	0	1	バ	古瀬敏弘	0	0	0	バ	佐藤載康	1	1	1	
バ	土井上政雄	1	1	1	バ	小谷盛一	0	0	0	バ	松本幸男	1	0	0	
バ	小沼佐太郎	0	0	0	バ	秋山政雄	1	1	0	バ	飯野一郎	0	0	0	
バ	態谷正	1	1	1	バ	齊藤勉	0	0	0	バ	横田国雄	1	0	1	
バ	山本雪信	1	2	1	バ	広瀬定夫	1	0	1	バ	竹下日吉	0	1	1	
バ	真野米光	1	0	0	バ	半沢勇雄	1	0	0	バ	柳田治郎	1	1	1	
バ	寺島享	1	0	0	バ	笠原良夫	1	0	1	バ	青木喜三	1	1	0	
バ	佐藤憲治	2	2	1	バ	武田伊三郎	1	0	0	バ	青木重次	1	1	1	
バ	佐藤忠男	0	1	1	バ	後木章	0	0	0	バ	関又左工門	0	0	0	
バ	佐藤和雄	0	1	1	バ	久保花次郎	1	0	0	バ	横田好一	1	1	1	
バ	塩田専治	0	0	0	バ	新井真	0	0	0	バ	田島量平	0	0	0	
バ	五十嵐徳治	1	0	0	バ	片野博	0	0	0	コ	西山健	-	0	0	
バ	田中清司	0	0	0	第二俣落地区										
バ	山本秀夫	1	0	0	バ	西村徳守	0	0	0						
バ	安達武蔵	1	1	1	バ	保科清	0	2	0						
バ	志賀安尾	0	0	0	バ	松岡喜代之助	0	0	0						
バ	志賀正治	0	0	0	バ	田代昭	1	0	0						
バ	篠永鉄雄	0	0	0	バ	井ノ口定則	0	0	1						
	俣落地区				バ	安江八五郎	0	1	1						
バ	原藤子	0	0	0	バ	鋤持広昭	1	0	1						
コ	大木敏夫	1	1	0	バ	齊藤別	0	0	0						
コ	小林金司	1	1	2	バ	峰松秀樹	1	1	0						
バ	板橋松寿	1	1	0	バ	山口広幸	0	0	1						
バ	岩井昇	1	0	0	バ	沖一美	1	0	1						
バ	服部一好	1	1	0	バ	片岡宅次	1	1	1						
バ	遠藤太一	0	0	0	バ	弾正原春	1	0	1						
バ	遠藤幸吉	2	1	0	バ	国光昭	1	0	0						
バ	高橋正三	0	0	0	バ	遠藤直行	1	0	1						
バ	松村晴由	0	0	0	バ	佐伯梶次	1	1	1						
バ	小山美芳	0	0	1	バ	来栖寛	0	0	0						
バ	本村正春	1	0	0	バ	川村清身	0	0	1						
バ	菅原清	1	1	1	バ	加藤繁	0	0	0						
バ	上村弘志	1	1	1	バ	萩原蝶七	1	2	2						
バ	上村重光	0	0	0	バ	星野昇司	0	0	0						
バ	上村力	0	0	0	バ	星野盛恵	2	1	1						
バ	松本正通	1	1	2	バ	滝本勇雄	0	0	0						
バ	藤原信男	1	1	1	バ	滝ヶ平義明	0	0	0						
バ	遠藤忠義	2	1	1	バ	滝ヶ平茂	0	0	0						
バ	山下鉄男	2	1	1	バ	滝ヶ平茲夫	1	1	1						
バ	阿部稔	0	0	1	バ	内山勲	0	0	0						
バ	上ヶ島国雄	1	0	0	バ	八木原明治郎	1	1	1						
バ	山崎民蔵	0	1	1	バ	中浦健夫	1	0	1						
バ	藤田貞蔵	0	0	0	バ	前原秀隆	2	1	1						
バ	藤田誠一	1	1	1	バ	町田芳照	2	0	1						
バ	鋤持幸男	1	0	1	バ	房川喜清	1	1	0						
バ	遠藤与畏二	0	0	0	バ	宮脇正治	1	0	0						
バ	宮田実	0	1	0	バ	滝本信孝	1	0	1						
バ	鷺見孝	1	1	2	バ	富沢保男	0	0	1						

〇乳出荷を目標に頑張ろう

乳房炎の牛乳は出荷しません
出来ません!!

旬別個乳検査成績(ランク別戸数)

ランク別旬	0	1	2	3	4	5	合計
上旬	146	134	35	0	0	0	315
中旬	177	116	20	2	0	0	315
下旬	178	116	19	2	0	0	315
合計	501	366	74	4	0	0	945
合格率	53.0	38.7	7.9	0.4	0	0	100.0

地区別個乳合格率

地区旬	当幌	中標津	俵橋	開陽	武佐	第二俣落	俣落	平均
上旬	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
中旬	96.7	100.0	100.0	97.1	100.0	100.0	100.0	99.4
下旬	100.0	98.0	100.0	97.1	100.0	100.0	100.0	99.4
月平均	98.9	99.3	100.0	98.0	100.0	100.0	100.0	99.6

11月 乳質検査成績表

中標津農業協同組合

種別	組合員名	上旬	中旬	下旬	種別	組合員名	上旬	中旬	下旬	種別	組合員名	上旬	中旬	下旬	種別	組合員名	上旬	中旬	下旬
	当幌地区				バ	高藤祐藏	0	0	1	バ	国見正雪	1	3	0	バ	佐々木武雄	0	0	0
バ	飯島光五郎	1	0	1	バ	連田弘	0	0	0	バ	国見実	1	1	0	バ	日下一芳	0	1	1
バ	飯島精一	0	0	2	バ	永谷雄幸	2	1	0	バ	齐藤哲雄	0	0	1	コ	福島広光	0	0	1
バ	奥田勝佳	0	1	0	バ	長縄弘	1	0	0	バ	齐藤栄七	1	0	0	バ	加茂正毅	0	0	1
バ	奥田岩男	0	1	0	バ	麻郷地忠	2	1	1	バ	伊藤七郎	2	1	1	バ	佐々木政行	1	0	0
バ	中山安寿	0	0	0	バ	麻郷地忠勝	2	1	0	バ	千葉清一	1	1	1	バ	三友盛行	0	0	1
バ	中山健三	1	1	1	バ	小針晴信	0	0	0	バ	村井直行	0	1	1	バ	高島貞作	0	0	0
バ	阿部俊勝	1	0	0	バ	花川秀一	2	1	1	バ	山崎正喜	2	1	0	バ	福島信一	1	1	1
バ	鈴木祥幹	0	1	0	バ	古沢亀治	0	0	1	バ	後藤田信夫	0	1	0	バ	古田起雄	2	2	1
バ	西垣丈夫	1	3	1	バ	花川稔	0	0	1	バ	齐须安雄	0	1	1	バ	本田萌	1	1	1
バ	小原治	1	0	0	バ	今井秀和	0	0	0	バ	今井靖清	0	0	0	バ	中村敏夫	2	0	1
バ	吉田繁行	0	1	0	バ	東原正広	0	0	0	バ	山田良太郎	2	2	1	バ	真野勇	1	1	0
バ	竹村満夫	1	1	0	バ	岡部実	0	0	2	バ	房川喜延	1	0	1	バ	多田俊夫	1	2	1
バ	高橋常次	2	1	1	バ	渡辺善行	0	0	0	バ	笹淵二郎	0	1	3	バ	小岩正一	1	0	1
バ	筒井留雪	0	0	0	バ	松隈健二	2	1	2	バ	井上亮夫	2	2	2	バ	伏見哲	1	1	1
バ	筒井良秋	0	0	0	コ	小林義忠	0	1	0	バ	笠井剛	1	1	1	バ	中川一平	2	2	2
バ	室井太吉	1	0	1	バ	古瀬イセ	0	0	0	バ	赤堀岩男	0	1	1		武佐地区			
バ	安田康正	0	0	0	バ	藤本久雄	2	2	1	バ	鈴木敏夫	1	0	1	バ	丹羽孝	1	1	0
バ	山田一男	1	0	0	バ	小川清	0	0	0		俵橋地区				バ	丹羽賢一	0	0	0
バ	松田昌介	1	1	1	バ	佐藤道嘉	0	0	0	バ	名越成夫	0	0	0	バ	亀井泉	0	0	0
バ	舟田正明	1	1	1	バ	佐藤末美	1	1	2	バ	佐藤清	1	0	0	バ	中司哲弥	0	0	0
バ	菊地良	0	0	0	バ	佐藤弘	1	0	1	バ	乾守夫	1	1	1	バ	上原徳保	1	0	0
バ	遠田要三	1	1	0	バ	佐藤永雄	0	0	0	バ	乾洋	0	1	0	バ	工藤正義	1	0	0
バ	西山隆一	2	2	2	バ	佐藤東	1	1	0	バ	伊東武	1	0	0	バ	舟橋清高	0	1	0
バ	長正路正義	0	0	0	バ	望月幸男	1	0	1	バ	大山富雄	2	2	1	バ	酒井清志	1	1	0
バ	大野富夫	0	1	0	バ	白築政博	1	0	0	バ	山下孝二	1	0	0	バ	目黒雅隆	1	1	0
バ	吉成はな子	0	1	1	バ	武田勇	1	1	2	バ	北川栄治	0	0	1	バ	工藤重美	0	0	0
バ	福村守	1	0	0	バ	高橋敏夫	1	0	1	バ	水本正二	0	0	0	コ	児島喜一	2	1	1
バ	遠藤弘成	1	1	1	バ	態倉彦吉	0	0	0	バ	水本一三	1	0	0	バ	児玉光彦	0	0	0
バ	笠原金吾	1	1	0	バ	小林茂夫	0	1	0	バ	山本正八	1	1	1	バ	坂口亀一	0	1	0
バ	唐崎幸司	0	0	0	バ	阿部正六	0	0	0	バ	榎田英雄	1	1	1	バ	白田稔	0	0	0
	中標津地区				バ	佐藤三男	0	0	0	バ	穴吹貞明	2	2	2	バ	新谷正治	0	1	0
バ	緩坂欣一	1	2	1	バ	長淵貞義	0	1	1	バ	佐藤きゑ子	2	1	1	バ	井口精一	0	0	0
バ	緩坂恭民	0	0	1		開陽地区				バ	佐々木文作	2	1	1	バ	川上茂	0	1	0
バ	吉川晴久	1	1	1	バ	土井上昭男	1	1	0	バ	野口忍	0	0	0	バ	長谷川寿	0	0	0
バ	滝場光明	0	0	0	コ	向館金吾	1	1	1	バ	太田功	0	0	0	バ	花尻武雄	1	1	1
バ	久保慶一郎	0	0	0	コ	山田輝男	2	2	2	バ	岡次郎	0	0	0	バ	中条由治	0	0	0
バ	久我良夫	1	1	0	コ	船越政雄	2	1	1	バ	金子安有	0	0	0	バ	中条啓一	2	1	1
バ	正城純一	0	0	0	コ	浅野トミ子	2	2	0	バ	高野国雄	1	0	0	バ	奥村保章	2	2	1
バ	荒昭一	1	0	1	バ	吾妻寅男	1	0	0	バ	中林勇	0	0	0	バ	菅岡信二	0	0	0
バ	桜井誠造	0	0	0	コ	鈴木嵩	2	1	2	バ	工藤隆弘	1	1	0	バ	高橋昌信	1	1	0
バ	佐々木繁雄	0	0	0	バ	桜井精治	1	0	1	バ	赤波江清	0	0	0	バ	中塚秀夫	1	2	0
バ	佐藤信義	1	2	1	バ	高橋寅之助	1	0	0	バ	沢口正志	0	0	0	バ	黒田正夫	1	1	1
コ	奥村武雄	2	2	2	バ	中本栄二	1	0	1	バ	桜井義雄	0	0	0	バ	藤原勝一	0	0	0
コ	阿部忠次郎	1	1	0	バ	丸田良夫	0	0	0	バ	大西秀良	1	0	0	バ	秋山実太	0	1	0
バ	三森章司	1	0	0	バ	鈴木重蔵	2	1	1	バ	大西英明	0	0	0	バ	佐藤春行	0	0	1
バ	川手輝雄	0	-	-	バ	高橋一男	1	1	1	バ	福島昭憲	1	1	1	バ	佐藤一広	0	0	0
バ	下山恵市	0	1	3	バ	高平幸夫	0	0	0	バ	下川原秀子	0	0	0	バ	清原賢一	0	1	0
バ	石崎多門	0	1	1	バ	中本要	1	1	1	バ	三輪貞夫	0	0	0	バ	湯山稔	1	1	2
バ	林仁一郎	0	0	0	バ	半沢利平	0	0	0	バ	西山一義	0	0	0	バ	湯山幸男	1	0	1

全道大会終る

去る十一月十五、十六日の二日間、温根湯温泉において、第二十六回全道農協婦人部大会が開催されました。

農協からは十名の部員さん方が参加されました。

第一日目は各分科会にわかれて話し合いがされました。

第一分科会 組織強化と協同意識を高める部会

第二分科会 農業を守る部会

第三分科会 健康なくらしを守る部会

第四分科会 農村文化を高める部会

第五分科会 若妻部会

以上が各分科会名です。

分科会終了後、スポーツセンターにおいて家の光大会が行なわれました。

次の日は家の光記念講演で、農村婦人の生き方―母、妻、女として―というテーマで、講師、藤原てい氏により講演されました。

講演終了後、本大会にはいり、前日の各分科会の報告をもとに討議がされました。

尚本大会において次の通り申し合せが決定しました。

(大会申し合せ)

1 私たちの生活体験の中から知識と教養を高め、豊かなくらしと農村文化を築きましょう。

2. ぐらしと健康を守るため、農協に生活活動部署の設置を働きかけましょう。

3. 明るく楽しい老後を築くため、長期生活設計にとりくみましょう。

4. 自給食品の地場消費を拡大するとともに、加工施設づくりをすすめましょう。

5. 自給農畜産物による手づくり菓子などの研究をすすめ、消費拡大につとめましょう。

6. 土づくり運動をすすめ、消費者が期待する安全で良質な農畜産物をつくりましょう。

7. 良質な農畜産物をつくり、全量を系統農協に出荷し、販売体制を強めましょう。

10 家の光の皆読運動にとりくみ、学習活動を強めぐらしを守る協同活動をすすめましょう。

11 私たちの選んだAコープマーク商品の改善につとめ、その活用により安全で健康なくらしを築きましょう。

食生活と 冷凍ストッカーの 利用を!!

農協ストアー

たいへん便利な冷凍ストッカーを組合員戸数三八五戸の内、二一五戸が持っている。五六%の普及率であるが、農村の食生活と婦人の労働力軽減にはどの位役立っているだろうか。以前の冷蔵庫時代から見れば、一段と改善に努力は見られるが、まだ十分利用をせざるに置いているという感じの人もある。農協店舗も含めて町内の商店の安売り合戦は道内でもまれでありここは見のがさずに一週間位いの食べ物や冷凍庫へ貯めて食生活の改善と、家庭環境の整備も含めて考えて行くのも一考ではないかと思う。

電化製品をフルに活用しよりよい生活を楽しもうではないか。

贈ったその日から役に立つ

乳製品消費拡大運動

乳製品の消費について系統組織をあげて「みんなの力で大きく消費」をスローガンに消費拡大運動を推進中です。

農協では、北海道の良質な牧草から生まれた栄養価の高い新鮮な牛乳を原料とした自然の風味をそのまま生かし「コク」とおいしさで好評であります。よつ葉マークの乳製品を中心に家庭での消費、ご贈答用、結婚式の引出物、各種会合の記念品等いろいろと利用してもらっておりますが、今年のお歳暮には酪農地帯の真心を乳製品に託し自からも大いに使い消費拡大に努めこの運動をみんなの力で盛り立てましょう。

Aコープ店では、よつ葉のバターチーズ等の乳製品を詰め合せした各種商品を取扱致しておりますのでご利用をおまちしております。